

広島大学大学院工学研究科 熱工学研究室
(松村・井上・神名研究室)
松村幸彦
井上修平
神名麻智

暖かい日が続くようになりました。同時に花粉も舞うようになり、花粉症には大変な季節にもなってきました。皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

研究室では、卒論、修論の最終発表が終了しました。新しい環境に向けて準備も進んでいます。

B4の一部とM2の学生は大学を去ることになります。少しでも多くのことを身につけてくれていると思います。結局、言われたことはあまり身につかず、自分で身につけようと思ったことしか残らないものです。人に言われたこと以外のことをどれだけ自分でやったのか、が重要になります。

先日、企業に就職したOBの方が来られましたが、就職してからも上の人も、周りの人も、大学の教科書を見ては復習し、新しいことを次々に勉強している、ということをおられました。我々研究室スタッフも研究の幅を広げるよう、少しでも新しいことを学ぶようにしています。

今回はB4の松並裕美子様から寄稿をいただいています。

■ 寄稿 (松並裕美子様)

日増しに暖かくなりましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。学部4年生の松並が近況報告をさせていただきます。

さて、修士2年生、私達学士4年生は先月に修士・卒業論文を提出し、発表を終えました。今までのデータを整理し、文章にする難しさを痛感いたしました。さらに、発表では自分の研究室以外の先生方へのプレゼンという事で、ゼミの発表とはまた違う緊張感がありました。

この1年を通して、論文作成・発表に関わらず、研究が続けることができたのは研究室の先生、先輩方のご指導、アドバイスのおかげです。ありがとうございます。私個人は4月から社会人となりますが、熱工学研究室で学んだことをしっかりと生かして参りたいと思います。

つたない文章ではございますが、これを寄稿とさせていただきます。皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

■ 8月の学会発表、講演等

<論文・総説(査読あり)>

Michael J. Antal, Jr., Lieve M. Helsen, Masato Kouzu, Jacques L?d?,
Yukihiko Matsumura: Rules of thumb (empirical rules) for the biomass
utilization by thermochemical conversion, J. Jpn. Inst. Energy, 93(8),
684-702 (2014.8)

<国際学会発表>

Shuhei Inoue, Daisuke Nakahara Yosuke Oga Yukihiko Matsumura: Mass
spectroscopy of intermediate products involved in chemical vapor
deposition synthesis of carbon nanotube, IHTC15-8586, 15th International
Heat Transfer Conference (IHTC-15), Aug. 10-15, 2014, Kyoto, Japan.

<国内学会発表>

松村幸彦: 伝熱学における講義上の工夫, 2F13, 工学教育研究講演会第62回年次大会, 2014.8.28-30, 東広島.

井上修平: 初年度の学生に対する配慮と講義の進め方-大学教育とこれまでとの違い-, 1C08, 工学教育研究講演会第62回年次大会, 2014.8.28-30, 東広島.

<講演>

松村幸彦: バイオマスエネルギー利用の現状と将来, 一般社団法人水素エネルギー

ギー協会 (HESS) 2014特別講演会, 2014.9.3, 東京.

○関連トピックス

JCREN2015 は愛媛で開催です。もしばらくすると講演申し込みが始まるかと思
います。是非、愛媛でお会いしましょう。

研究室のホームページは <http://home.hiroshima-u.ac.jp/hpthermo/> です。過
去のメルマガも読めます。

共同研究、奨学寄付金、受け付けています。ご連絡は mat@hiroshima-u.ac.jp
までお願いします。

なお、メルマガの配信停止の連絡、お気づきの点、コメントなどは mat@hiroshima-u.ac.jp までお願いします。

(@は半角に変えてください。)